令和７年度 定時社員総会

日　時　令和７年６月９日（月）午後２時

場　所　サイプレスガーデンホテル
名古屋市熱田区金山町一丁目９番８号
Tel 052-679-1661 / Fax 052-679-1663

一般社団法人 愛知県環境測定分析協会
〒460-0022 名古屋市中区金山一丁目２番４号
アイディエリアビル 405
Tel 052-321-3803 / Fax 052-684-4238

表　彰　式　次　第

1　開　　式

2　愛知県知事表彰（計量関係功労者）

3　令和７年度正会員従業員表彰

4　令和７年度環境に関する喚起標語入選者表彰（特選受賞者）

5　第７回写真コンテスト入選者表彰（各部門の金賞受賞者）

6　受賞者代表謝辞

7　閉　　式

愛知県知事表彰受賞者（計量関係功労者）

氏　　名	所　属　事　業　所
志 賀　 政 雄	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社

（敬称略）

令和７年度正会員従業員表彰受賞者（１６名）

氏　　名	所　属　事　業　所
荒 川　 正 樹	株式会社環境科学研究所
尾 崎　 芙 実	一般社団法人愛知県薬剤師会
加 知　 直 樹	株式会社大同分析リサーチ
河 合　　新	株式会社環境公害センター
河 井　 詩 歩	株式会社環境公害センター
川 口　 陽 大	株式会社イズミテック
杉 浦　 百 加	一般財団法人東海技術センター
竹 内　こずえ	壽化工機株式会社
近 井　 香 子	株式会社ユニケミー
遠 山　 侑 佳	株式会社愛研
福 永　 達 哉	サンエイ株式会社
二 村　 剛 史	一般社団法人愛知県薬剤師会
堀 部　 泰 生	株式会社ユニケミー
松 延　 章 吾	株式会社イズミテック
山 添　 俊 徳	株式会社大同分析リサーチ
山 中　 智 香	東亜環境サービス株式会社

（敬称略：氏名の五十音順）

令和７年度環境に関する喚起標語入選者

「技術者教育（人材育成）」をテーマとして喚起標語を募集したところ、１４２作品の応募があった。

区分	標　　語	氏　　名 （敬称略）	所　　属
特選	品質づくりは人づくり 技術で繋ぐ信頼の環境計量	鈴木　大地	サンエイ(株)
入選	サステナブルな技術継承と 技術革新でつなぐ 未来の環境計量	石神　　昇	(株)愛研
入選	失敗を恐れず　まずやってみよう それが成長の近道だ	井上　宏樹	(株)環境公害センター
入選	引き継ごう、知識と技術と信念と	伊豫田 真章	(株)イズミテック
入選	受け継ぐ技術と情熱が 輝く未来の道しるべ	大東　亮介	(株)環境科学研究所
入選	送り出す　人と技術を次世代へ 正しい知識で確かな計量	大森　邦弘	(株)ユニケミー
入選	確かな計量　正しく継承 明るい未来に繋げよう！	伴野　達也	(株)アイシン・ ロジテクサービス
入選	正しい手順で確かな計量 継承していく未来のために	藤田　亜紗	(株)東海分析化学研究所
入選	根拠に基づくアプローチ 高潔な技術者への第一歩	藤山　法士	(一社)愛知県薬剤師会
入選	伝えるおもいと　受けとるおもい 二つの心が拓く計量の未来	前田　香織	(株)環境科学研究所
入選	明日に伝える技術と知識 繋ぐバトンで支える計量	山本　敦恵	(一財)東海技術センター

（入選は、氏名（敬称略）の五十音順）

第７回写真コンテスト入選者

「四季部門」及び「測定・分析部門」について作品を募集したところ、四季部門に２９作品、測定・分析部門に９作品の応募があった。

＜四季部門＞

区分	題　　名	氏　　名	所　　属
金賞	落ち葉と観光客を見守る お地蔵さん	永井 健太郎	（一社）愛知県薬剤師会
銀賞	2700ｍの雲海	大里　琉喜	（株）愛研
入選	ハーベスト・ムーン	大野　　哲	（株）イズミテック
入選	天高く昇れ！	丹川　幸久	（一財）東海技術センター
入選	森の新入り	林　　昌史	（株）環境科学研究所

（入選は、氏名（敬称略）の五十音順）

＜測定・分析部門＞

区分	題　　名	氏　　名	所　　属
金賞	日常業務に彩りを添える 紫の音階	白戸 亜矢子	（一財）東海技術センター
銀賞	ラッキー７！	各務　直之	三協熱研（株）
入選	塩化物イオン含有量試験	瀧川 日和子	（一財）東海技術センター
入選	輝きを取り戻した池の水面	平家　正佳	サンエイ（株）

（入選は、氏名（敬称略）の五十音順）

令和７年度 定時社員総会次第

１　開　会

２　会長挨拶

３　来賓祝辞

４　議事録署名人の選出

５　議　事

（１）　第１号議案　令和６年度事業報告について

（２）　第２号議案　令和６年度収支決算について

（３）　第３号議案　令和７～８年度役員の選任について

（４）　第１号報告　令和７年度事業計画について

（５）　第２号報告　令和７年度収支予算について

６　その他

７　閉　会

８　特別講演

演題　「ＴＤＢ企業情報からみる中小企業のリスク」

講師　株式会社帝国データバンク 名古屋支店

調査第１部　部長　岩瀬 宏之 氏

９　懇親会

第１号議案　令和６年度事業報告について

※「オンライン形式」など従来の「会場・対面形式」以外で開催した事業については、本文中にその旨（**オンライン形式**、**書面開催**等）を記載しました。

１　**正会員数**　　６２社（令和６年度末、年度当初は６３社）
※令和７年度当初に１社入会あり→６３社

２　**賛助会員数**　　１８社（令和６年度末、年度当初は１９社）

３　**令和６年度定時社員総会**

開催日・場所：令和６年６月５日（水）・サイプレスガーデンホテル

内　　容：各種表彰式（計量関係功労者、正会員従業員、令和６年度環境喚起標語の特選受賞者）
令和５年度事業報告・収支決算の承認
特別講演　青木一起氏（名古屋学院大学スポーツ健康学部教授）
『アンコンシャス・バイアスに対する認識と対策』

４　**理事会**

開　催　日	議　　題
第１回理事会 ６．４．26（金） （Niterra日本特殊陶業市民会館（以下「市民会館」）第２会議室）	１　前回（令和５年度第６回）理事会以降の事業報告 ２　各委員会の活動状況報告（景況調査結果を含む） ３　令和６年度定時社員総会 ４　令和６年度行事予定 ５　令和５年度事業報告（案） ６　令和５年度収支決算（案） ７　令和６年度「正会員従業員表彰」
第２回理事会 ６．７．22（月） （市民会館第２会議室）	１　前回理事会以降の事業報告 ２　令和６年度定時社員総会の結果について ３　各委員会の活動状況報告（今後の活動計画も含む） ４　令和６年度第１回ブロック会議について ５　「日環協経営セミナー全国大会 in 富山 with 能登」について
第３回理事会 ６．10．28（月） （市民会館第２会議室）	１　前回理事会以降の事業報告 ２　各委員会の活動状況報告（今後の活動計画も含む） ３　令和６年度第１回ブロック会議について ４　令和６年度収支決算（中間報告） ５　事務職員の労働条件の変更について ６　「日環協経営セミナー全国大会 in 富山 with 能登」について

第４回理事会 ６.12.17（火） （市民会館第２会議室）	1　前回理事会以降の事業報告 2　各委員会の活動状況報告（今後の活動計画も含む） 3　令和６年度特別企画セミナーについて 4　「環境に関する喚起標語」の募集について「 5　もりの学び舎」における環境啓発活動への協賛について
第５回理事会 ７．３.11（火） （市民会館第２会議室）	1　前回理事会以降の事業報告 2　各委員会の活動状況報告（今後の活動計画も含む） 3　令和７年度正会員従業員表彰 4　令和７年度事業計画（案）及び収支予算（案） 5　令和７・８年度の役員等 6　愛知県知事表彰（計量関係功労者・環境保全関係功労者） 7　「環境に関する喚起標語」の選考 8　正会員の入退会 9　排水中の大腸菌数の表示下限値

5　委員会活動……委員会名の後の（　）内は開催回数

(1) 総務委員会　（５回：全て**書面開催**）

ア　令和６年度「正会員従業員表彰」の候補者を選定した。

イ　令和６年度景況調査を実施した。

ウ　令和７年度「環境に関する喚起標語」を募集して優秀作品を選定、理事会へ報告した。

エ　環境月間講演会、特別企画セミナーを企画し開催した。

(2) 企画・広報委員会　（４回：うち２回は**書面開催**）

ア　フットサル大会（稲沢フットサルスタジアム）を企画・運営した。

イ　社員総会後の特別講演、環境月間講演会の講師を選定するとともに、それらの開催時に協力した。

ウ　会報誌「あいかんきょう」第１５９、１６０、１６１、１６２号を編集・発行した。

エ　令和２年度から開始した「あいかんきょう」への広告チラシ封入サービスを継続した（利用は１社と愛知県）。

オ　第７回写真コンテストの作品を募集した。

(3) 教育研修委員会　（５回）

ア　環境測定分析新任者研修会、精度管理研修会①（基礎統計コース）、精度管理研修会②（中堅実務コース）、環境計量士等研修会及びＳＯＰ研修会を企画し開催した。

イ　アのうち、ＳＯＰ研修会については「会場・対面形式」で、それ以外の研修会については「オンライン形式」で開催した。

(4) 技術委員会　（３回：全体会議後に各ＷＧを開催）

ア　共同実験（水質）を実施し、結果検討会をハイブリッド開催した。

イ　共同実験（大気）を実施し、結果検討会を開催した。

ウ　共同実験（騒音・振動）を実施し、結果検討会及び騒音・振動ＷＧ勉強会を開催した。
エ　ガスメーターの自主検査を２回実施した。

(5) 災害緊急時対応委員会　（１回）

ア　協定を締結している愛知県、豊橋市、豊田市、岡崎市及び一宮市と、「大規模地震による災害を想定した河川水の環境調査の訓練」を１１月１８日に実施した。

イ　愛知県、県内市町村及び廃棄物関係団体が実施する災害廃棄物処理に関する図上演習や、愛知県が開催する災害廃棄物処理に関する研修会に参加した。

ウ　「災害時相互応援協定」を締結している８県単（福島、埼玉、東京、神奈川、横浜市、愛知、大阪、堺市の協議会）による「意見交換会」（１１月・幹事：埼環協・開催場所：群馬）に参加するとともに、首都圏環境計量協議会連絡会主催の「2024 年度 環境計量証明事業団体合同研修会」（２月・東京）に参加し、自治体との災害防止協定に関する活動内容等について意見交換を行った。

エ　石川県環境計量協会主催（日環協中部支部共催）の環境計量技術研修会（１１月・金沢）において、委員長が「愛環協における災害協定への取組」について講演した。

6　研修会等実施状況

研修会等の名称 （開催場所）	開催日 （参加者数）	演題及び講師（敬称略）
環境測定分析新任者研修会 **オンライン形式**	６．６．13（木） （42名）	１「環境計量の仕事とは」 （一財）東海技術センター　山本 敦恵 ２「精度よい測定のために」 ①サンプリングの基礎 ②分析技術－化学分析－ (株)テクノ中部　判治 寿高
	６．６．14（金） （42名）	２「精度よい測定のために」 ③分析技術－機器分析－ ④検量線と標準物質 ⑤データの取扱 (株)環境科学研究所　牧原 大 ３「労働安全衛生」 作業環境測定インストラクター 新谷良英
環境月間講演会 （市民会館第１会議室）	６．６．28（金） （40名）	１『愛知県環境調査センターの紹介及び化学物質の調査・研究について』 愛知県環境調査センター 水環境部 主任研究員　梶田 奈穂子 ２『河川マイクロプラスチックの調査・研究について』

		愛知県環境調査センター 水環境部 主任研究員　木村 由紀子 3『野生動物とのつきあい方』 岐阜大学　社会システム経営学環 准教授　森部 絢嗣
騒音・振動ＷＧ勉強会 （市民会館第２会議室）	6．7．1（月） （11名）	1「新幹線の環境問題および騒音・振動の測定・評価」 ジェイアール東海コンサルタンツ(株) 加藤 信二郎 2「新幹線鉄道騒音測定・評価マニュアルの詳細説明」 (株)環境科学研究所　芳賀 生憲
精度管理研修会① 【基礎統計コース】 オンライン形式	6．7．26（金） （31名）	1「基本統計量」 (株)東海分析化学研究所　夏目 訓良 2「検定」 (株)ユニケミー　今井 尚洋 3「外れ値の検定」 (一社)愛知県薬剤師会　小川 光寛
精度管理研修会② 【中堅実務コース】 オンライン形式	6．9．19（木） （28名）	1「環境法令について」 (株) 環境公害センター　牛古 誠 2「サンプリング及び環境分析における精度管理」 (一社)愛知県薬剤師会　小川 光寛 3「機器分析の精度管理」 (一財) 東海技術センター　土屋 忍
	6．9．20（金） （28名）	4「不確かさの検出」 (株)環境科学研究所　牧原 大 5「数値の扱い方、下限、妥当性及び基本統計量」 (株)東海分析化学研究所　夏目 訓良 6「相関分析・回帰分析」 愛知県立名古屋工科高等学校　井上 満
環境計量士等研修会 オンライン形式	6．11．29（金） （90名）	1「愛知県における水質総量削減制度について」 愛知県環境局環境政策部水大気環境課 小島 徳久

		2「PFAS 分析法の精度管理と対策技術の矛盾 －単位の問題－」 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 環境創生研究部門 山下 信義 3「JIS K-0102 の規格体系の見直しについて（第 3 回）－ 第 4 部及び第５部 －」 (株)環境科学研究所 牧原 大 4「技術講演 試薬の取り扱いについて － 自主的な化学物質管理の前に －」 関東化学（株） 齋藤 誠志 5「製品紹介 安全対策関連製品・PFAS 分析関連試薬」 関東化学（株） 土屋 公平 齋藤 誠志
共同実験（水質）結果検討会 （市民会館第１会議室とオンラインのハイブリッド形式）	6.12.10（火） （33名）	「模擬排水中の COD(Mn)及び BOD の分析」 結果の解説後、参加者全員でディスカッションを実施
ＳＯＰ（標準作業手順書）研修会 （市民会館第２会議室）	7．1.31（金） （24名）	1「ＳＯＰとは」 2 ＳＯＰのグループ作成演習 3 作成したＳＯＰのグループ発表 (株)ユニケミー 池田 寛
共同実験（大気）結果検討会	7．2.14（金） （18名）	「模擬煙道排ガス中のＮＯｘ濃度測定」 結果の解説後、参加者全員でディスカッションを実施
共同実験（騒音・振動）結果検討会	7．3．4（火） （９名）	「新幹線鉄道騒音の測定」 結果の解説後、参加者全員でディスカッションを実施
特別企画セミナー （市民会館第１会議室）	7．3.21（金） （39 名）	【第１部】「計量証明事業所への立入検査について ～最新情報～」 愛知県経済産業局商業流通課 八鍬 宗親 【第２部】「被害事例に学ぶ！ 中小企業が今すぐ取り組むべきサイバーセキュリティ対策とは？」 エムオーテックス株式会社 原田 洋司

7　広報活動

(1)　環境保全の必要性及び重要性を広報するとともに、関係機関が開催する行事に積極的に参加した。

(2) 会報誌「あいかんきょう」の発行

号	発行月日	主　　な　　記　　事
159	６．４．20	災害時相互支援協定締結団体による意見交換会 委員会活動報告 「ＳＯＰ研修会」受講報告 「景況調査」結果報告 喚起標語 入選作品紹介 事務局からのお知らせ
160	６．７．20	定時社員総会報告 委員会活動報告 「特別企画セミナー」報告 「大気・騒音 WG 勉強会」開催報告 私の趣味 事務局からのお知らせ
161	６．10．20	委員会活動報告 「環境月間講演会」開催報告 「環境測定分析新任者研修会」受講報告 「精度管理研修会①（基礎統計コース）」受講報告 私の趣味 時の話題「ＰＦＡＳ」 事務局からのお知らせ
162	７．１．１	年頭挨拶（会長、愛知県知事） 委員会活動報告 大規模地震災害を想定した河川水環境調査訓練 「精度管理研修会②（中堅実務コース）」受講報告 「フットサル大会」開催報告 事務局からのお知らせ

(3) 情報提供

環境測定分析に関係して収集した情報を、情報提供を申し込んだ会員２８社に随時送付した。

8　共同実験（クロスチェック）

日環協中部支部との共催事業として実施した。

	内　　容	実　施　日	参加社数	うち県外
共同実験 （水　質）	模擬排水中のCOD(Mn) 及びBODの分析	6. 7.10(水)	39社 (40口)	8社 (9口)
	結果検討会 ハイブリッド形式	6.12.10(火)	29名	5名
共同実験 （大　気）	模擬煙道排ガス中の 窒素酸化物濃度測定	6.11.21(木)	19社 (19口)	4社 (4口)
	結果検討会	7. 2.14(金)	18名	3名
共同実験 （騒音・振動）	新幹線鉄道騒音の測定 及び解析	6.11.19(火)	7社 (13口)	1社 (2口)
	結果検討会	7. 3. 4(火)	9名	2名

9　環境相談窓口の設置

県民からの分析機関の照会や環境に関する相談に対応した。

１０　関係行政機関への協力

(1) 愛環協が、愛知県、豊橋市、豊田市、岡崎市及び一宮市とそれぞれ締結している協定に基づき、大規模地震による災害を想定した河川水質環境調査の訓練（11 月 18 日）に参加した。

(2) 愛知県がＮＰＯ法人「もりの学舎自然学校」との協働により、愛・地球博記念公園（モリコロパーク）で実施している「自然体験プログラム」（ゴールデンウィーク特別企画）に協賛した（５月６日）。

(3) 令和６年５月 26 日に愛知県立愛知総合工科高校で開催された「高校生ものづくりコンテスト（化学分析部門）」愛知県大会を後援するとともに、分析試料の提供及び表彰に協力した。

１１　測定済証紙の斡旋

令和６年度には、次のとおり計 753 枚を斡旋した。

水　質	127 枚
排ガス	599 枚
騒　音	27 枚
計	753 枚

１２　ガスメーター自主検査

機器管理基準に基づくガスメーターの自主検査を、(株)テクノ中部の協力により２回実施し、計 35 台の検査を実施した。

第１回　令和６年７月３日(水)～７月17日(水)	受検台数	16 台
第２回　令和７年１月22日(水)～１月31日(金)	受検台数	19 台
	計	35 台

１３　愛知県知事表彰

計量関係功労者として、波多野群樹氏（(株)愛研）が、令和６年度定時社員総会において表彰された（環境保全関係功労者は、該当者なし）。

１４　正会員従業員表彰

環境測定分析業務に７年以上勤続の正会員従業員 10 名を、令和６年度年度定時社員総会において表彰した。

受賞者（氏名の五十音順、敬称略）

氏　　名	所　属　事　業　所
入 山　沙智代	株式会社 ユニケミー
奥 野　麻 紀	株式会社 イズミテック
梶 浦　郁 乃	株式会社 愛研
木 原　潤 一	一般財団法人 東海技術センター
小 出　智 恵	株式会社 ユニケミー
佐 藤　順 通	一般社団法人 愛知県薬剤師会
能 島　知 宏	株式会社 環境科学研究所
村 瀬　あゆ美	株式会社 三進製作所
山 内　陽 介	一般社団法人 愛知県薬剤師会
山 本　昂 平	株式会社 イズミテック

１５　令和７年度環境に係る喚起標語の募集及び活用

「技術者教育（人材育成）」をテーマに喚起標語を募集したところ、14 社から 142 作品の応募があり、この中から特選１作品及び入選 10 作品を選出した。特選作品については、令和７年度の愛環協喚起標語としてポスターを作成し、会員に配付した。

１６　ブロック会議

理事会審議事項の伝達、各会員の近況報告、その他関心事項など、会員相互の情報交換や意思疎通を図るとともに、協会事業の周知と協会に対する要望事項を聴取するため、第１回会議を令和６年１０月に、第２回を７年２月に４つのブロックごとに開催し、多くの出席者のもと、活発な意見交換や近況報告が行われた。

１７　関係団体活動

(1) 一般社団法人日本環境測定分析協会中部支部

次の事業を、中部支部と共催で実施（一部の研修会は中部支部から受託）した。

ア　共同実験（３回：８参照）

イ　各種研修会（６参照）

(2) 石川県環境計量協会

同協会主催の「環境計量技術研修会」に、災害緊急時対応委員長を講師として派遣し、「愛環協における災害協定への取組」について講演を行った。

(3) 愛知県計量連合会

県内計量関係団体の一員として、業務の連絡をした。

(4) 中部環境計量士会と連携・協調した。

第２号議案　令和６年度収支決算について

貸　借　対　照　表

（令和7年3月31日現在）

単位:円

科　　目	当年度(a)	前年度(b)	差　異(a－b)
Ⅰ　資産の部			
1. 流動資産			
普通預金	4,135,878	3,769,847	366,031
振替口座預金			0
定期預金	163,000	963,000	△ 800,000
未収金	0	3,000	△ 3,000
流動資産合計	4,298,878	4,735,847	△ 436,969
2. 固定資産			
電話加入権	72,000	72,000	0
商標登録権	40,000	40,000	0
固定資産計	112,000	112,000	0
資産合計	4,410,878	4,847,847	△ 436,969
Ⅱ　負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	810,000	810,000
預り金	18,211	57,631	△ 39,420
前受金	0	0	0
流動負債計	18,211	867,631	△ 849,420
2. 固定負債			
退職給与引当金	163,000	153,000	10,000
固定負債計	163,000	153,000	10,000
負債合計	181,211	1,020,631	△ 839,420
Ⅲ　正味財産の部			
一般正味財産			
正味財産合計	4,229,667	3,827,216	402,451
負債及び正味財産合計	4,410,878	4,847,847	△ 436,969

正味財産増減計算書

（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

単位:円

科　　目	当年度(a)	前年度(b)	差　異(a－b)
Ⅰ　一般正味財産の部			
1.　経常増減の部			
(1)　経常収益			
①　受取入会金			
受取入会金	0	0	0
②　受取会費			
受取会費(正会員)	7,560,000	7,560,000	0
受入会費(賛助会員)	950,000	1,000,000	△ 50,000
③　事業収益			
研修会等収入	1,603,000	1,062,000	541,000
クロスチェック参加料	1,076,000	803,000	273,000
ガスメーター自主検査料	385,000	363,000	22,000
その他の事業収入	466,240	403,860	62,380
日環協中部支部委託事業収入	816,240	960,833	△ 144,593
雑収入	300,502	250,067	50,435
経常収益計	13,156,982	12,402,760	754,222
(2)　経常費用			
①　事業費			
委員会費	155,396	137,073	18,323
研修会等費	1,248,392	1,182,594	65,798
クロスチェック費	359,205	198,418	160,787
ガスメーター自主検査費	385,000	363,000	22,000
広報活動費	1,406,087	1,682,704	△ 276,617
ブロック活動費	294,572	282,408	12,164
調査研究費	0	0	0
環境関係行事協賛費	55,000	55,000	0
関係団体会費・分担金	0		0
環境相談事業費	0		0
その他の事業費	279,178	83,182	195,996

単位:円

科目	当年度	前年度	差異
② 一般管理費			
給与手当	3,240,000	3,240,000	0
福利厚生費	1,207,741	1,003,113	204,628
事務所賃貸料	2,080,716	2,080,716	0
水道光熱費	899,191	895,609	3,582
通信運搬費	128,237	118,150	10,087
旅費交通費	61,800	48,570	13,230
印刷費	80,119	48,070	32,049
消耗品費	65,039	53,059	11,980
総会費	437,365	445,343	△ 7,978
その他会議費	89,006	89,856	△ 850
事務機リース料	83,166	198,534	△ 115,368
租税公課	71,600	81,600	△ 10,000
退職給付費用	10,000	10,000	0
雑費	117,721	50,577	67,144
経常費用計	12,754,531	12,347,576	406,955
当期経常増減額	402,451	55,184	347,267
2. 経常外増減の部			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産	402,451	55,184	347,267
一般正味財産期首残高	3,827,216	3,772,032	55,184
Ⅱ 正味財産期末残高	4,229,667	3,827,216	402,451

監　査　報　告　書

一般社団法人愛知県環境測定分析協会
会　長　　大　野　　哲　様

私は、一般社団法人愛知県環境測定分析協会の令和６年度（令和６年４月１日から令和７年３月３１日まで）における貸借対照表、正味財産増減計算書等の会計書類及び業務について精査し、監査を行った結果、いずれも正確かつ適正であったことを確認いたしました。

令和７年４月９日

一般社団法人愛知県環境測定分析協会

監　事　金田哲夫

第３号議案　令和７～８年度 役員の選任について

令和７～８年度の役員を次の方々にお願いしたいと存じますので、ご審議をお願いいたします。

ご承認いただけた場合は、本総会終了後直ちに理事会を開催し、理事の中から会長及び副会長を選任いたします。

役職	氏　　名	所 属 事 業 所	職　　名
理事	石井　良孝	株式会社愛研	代表取締役
理事	伊藤　諭志	東亜環境サービス株式会社	代表取締役
理事	伊藤　教博	株式会社コスモ環境衛生コンサルタント	代表取締役
理事	牛古　　誠	株式会社環境公害センター	取締役
理事	大場　恵史	株式会社東海分析化学研究所	代表取締役社長
理事	濱地　清市	株式会社ユニケミー	代表取締役社長
理事	林　　辰哉	一般財団法人東海技術センター	執行理事
理事	林　　昌史	株式会社環境科学研究所	代表取締役
理事	柳下　武己	株式会社三進製作所	常務取締役
理事	吉田　　謙	株式会社テクノ中部	計画グループ長
監事	大野　　哲	株式会社イズミテック	代表取締役社長
監事	藤山　法士	一般社団法人愛知県薬剤師会	水質検査課長

（注）役員ごとに五十音順（敬称略）

第１号報告　令和７年度事業計画について

１　研修の開催

(1) 環境分析技術、法令等講習会の開催
　計量法改正等の説明会を開催する。
　　開催時期　　必要に応じ随時

(2) 環境測定分析技術者研修会の開催

ア　新任者研修会（日環協中部支部より受託：オンライン形式）
　　開催時期　　令和７年６月19・20日

イ　精度管理研修会①【基礎統計コース】（日環協中部支部と共催：オンライン形式）
　　開催時期　　令和７年７月25日

ウ　精度管理研修会②【中堅実務コース】（日環協中部支部より受託：オンライン形式）
　　開催時期　　令和７年９月18・19日

エ　ＳＯＰ（標準作業手順書）研修会（日環協中部支部と共催）
　　開催時期　　令和８年１月30日

オ　大気・臭気分野の勉強会
　　開催時期　　令和８年１月（詳細未定）

カ　騒音・振動分野の勉強会
　　開催時期　　令和７年11月（詳細未定）

(3) 環境計量士等研修会の開催（日環協中部支部と共催：オンライン形式）
　環境計量士を対象として、環境問題に対しての認識を深め、新しい分析技術を習得する。
　　開催時期　　令和７年10月31日

(4) 特別企画セミナーの開催（日環協中部支部と共催）
　　開催時期　　令和８年３月（詳細未定）

２　広報活動

(1) 環境保全広報の実施
　環境保全の必要性や重要性を県民に広報する。

(2) 会報誌「あいかんきょう」の発行　　年４回
　協会事業等を会員及び関係者に広報する。
　発送時に広告チラシを同封するサービスを実施する。

(3) 情報提供
　環境測定分析関係情報を、インターネット等を通じ提供する。

(4) 「愛環協サポーターズ　メールマガジン」の運営　不定期

(5) 環境関連事項についての調査

(6) 環境月間講演会の開催　　令和７年６月26日

３　共同実験（クロスチェック）の実施

分析技術の精度向上のため、会員以外の者も対象として実施する。
また、共同実験参加者による結果検討会を開催する。

水質関係の測定分析　　令和７年７月（詳細未定）

４　施設見学会（レクリエーション行事）の実施

会員の環境に対する幅広い視野と知識を涵養するため、施設見学会を実施する。
または、会員相互の親睦を深めるため、フットサル大会を実施する。

５　環境相談窓口

県民からの測定分析その他環境に関する問合せに対応する。

６　関係行政機関行事への協力

(1) 愛知県環境局等の防災訓練に協力連携し、協定に基づく訓練を実施する。
(2) 愛知県環境局と「もりの学舎自然学校」が協力して「モリコロパーク」で行う自然とのふれあい事業（５月６日）に協賛する。
(3) 令和７年５月に開催予定の「高校生ものづくりコンテスト（化学分析競技）」愛知大会に協力（試料調製、表彰状作成）する。

７　測定済証の発行

定期測定分析事業所に対し測定済証を貼付することにより測定済証の実施の履行を図る。

８　ガスメーター自主検査事業の実施　　２回

９　愛環協ホームページの管理、運営　　随時更新

１０　計量証明書「承認様式」の認証　　随時

１１　正会員従業員表彰

環境測定分析業務に７年以上勤続等の正会員従業員を表彰する。

１２　喚起標語の募集と表彰　　令和７年 12 月（募集）

環境計量に関する喚起標語を募集し、優秀作品は定時社員総会において表彰する。

１３　景況調査の実施　　令和８年２月

正会員に対して景況調査を実施する。

１４　ブロック会議の開催　　２回

理事会審議事項の伝達、会員相互の情報交換及び親睦等のため、各ブロック毎又は合同で会議を開催する。

１５　関係団体との連携協調

(1)　（一社）日本環境測定分析協会、同中部支部と研修や共同実験、セミナー等を共催で実施するなど、連携協調を図る。

(2)　「災害時相互支援協定」を締結している８県単※の意見交換会（大阪府で６月頃開催予定、詳細は未定）に参加する。

※　（一社）福島県環境測定・放射能計測協会、（一社）埼玉県環境計量協議会、東京都環境計量協議会、（一社）神奈川県環境計量協議会、横浜市環境技術協議会、大阪環境測定分析事業者協会、堺市環境計量協議会及び（一社）愛知県環境測定分析協会

(3)　（一社）愛知県計量連合会、中部環境計量士会と連携協調を図る。

第２号報告　令和７年度収支予算について

令 和 7 年 度 収 支 予 算

（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

単位:円

科　　目	令和7年度予算 (a)	令和6年度予算 (b)	差　異 (a－b)
Ⅰ　一般正味財産の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入会金			
受取入会金	50,000	0	50,000
② 受取会費			
受取会費(正会員)	7,560,000	7,560,000	0
受取会費(賛助会員)	900,000	950,000	△ 50,000
③ 事業収益			
研修会等収入	1,350,000	1,000,000	350,000
クロスチェック参加料	900,000	850,000	50,000
ガスメーター自主検査料	385,000	374,000	11,000
その他の事業収入	400,000	400,000	0
日環協中部支部委託事業収入	700,000	600,000	100,000
雑収入	250,000	250,000	0
経常収益　計　A	12,495,000	11,984,000	511,000
(2) 経常費用			
① 事業費			
委員会費	200,000	200,000	0
研修会等費	1,330,000	900,000	430,000
クロスチェック費	220,000	220,000	0
ガスメーター自主検査費	385,000	374,000	11,000
広報活動費	1,400,000	1,400,000	0
ブロック活動費	315,000	315,000	0
環境関係行事協賛費	55,000	55,000	0
環境相談事業費		0	0
その他の事業費	60,000	60,000	0
事業費　計　B	3,965,000	3,524,000	441,000

単位:円

科　　目	令和7年度予算 (a)	令和6年度予算 (b)	差　異 (a－b)
② 一般管理費			
給与手当	3,240,000	3,240,000	0
福利厚生費	1,200,000	1,050,000	150,000
事務所賃貸料	2,090,000	2,090,000	0
水道光熱費	900,000	900,000	0
通信運搬費	130,000	130,000	0
旅費交通費	50,000	50,000	0
印刷費	50,000	50,000	0
消耗品費	50,000	50,000	0
総会費	480,000	480,000	0
その他会議費	90,000	90,000	0
事務機リース料	120,000	200,000	△ 80,000
租税公課	70,000	70,000	0
退職給付費用	10,000	10,000	0
雑費	50,000	50,000	0
一般管理費　計　C	8,530,000	8,460,000	70,000
経常費用計　D=B+C	12,495,000	11,984,000	511,000
当期経常増減額　E=A-D	0	0	0
2.　経常外増減の部			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計　F	0	0	0
経常外費用	0	0	0
予　備　費	0	0	0
経常外費用計　G	0	0	0
当期経常外増減額　H=F-G	0	0	0
当期一般正味財産　I=E+H	0	0	0
一般正味財産期首残高　J	4,229,667	3,827,216	402,451
Ⅱ　正味財産期末残高　I+J	4,229,667	3,827,216	402,451

科目間の流用を認める